



【入選作品】手紙に込めた感謝の気持ち ～保険の相談が、感謝の手紙を書くきっかけになった～

ご夫婦で来店された際、ご主人の保険の見直しについてご相談をいただきました。

ご主人は「病気やケガで家族に迷惑をかけたくない」と話され、奥さまは黙ってその言葉を聞いておられました。

ご主人が席を外されたタイミングで、奥さまは「本当にそうになったらと思うとつらいです」と、静かに胸の内を明かしてくださいました。

それでも、家族のことを考えてくれているご主人に、深く感謝されている様子でした。

折にふれて、手紙を添えたプレゼントを贈られているとのことでした。

後日、ご主人が一人でお申し込みに来店された際、雑談の中でこう話してくださいました。

「奥さんには苦勞をかけた。ずっと支えてくれていることに感謝してる。何があっても、こいつだけは幸せにしたいと思って働いてる。」

その言葉を聞き、私は「そのお気持ちを、奥さまに手紙で伝えてみませんか?」とご提案しました。

しばらく沈黙された後、「書いてみるわ。そうやな、そうやな」と言われ、便箋を選んでほしいと頼まれました。

選んだ便箋をお渡しすると、「クリスマスの時に渡そうかな」と笑顔で帰られました。

後日、連絡を取ると、「書き始めると、奥さまの誕生日に付き合い始めたこと、仕事がうまくいかなかった時に支えてくれたことなど、思いがあふれて止まらなかった。けど、書ききったよ」と話してくださいました。

「最初は手渡ししようと思ったけど、大切な時期が来たときに読んでほしいと思って、宛名をつけて保管してる」とのことでした。

最後に、ご主人はこう言ってくださいました。

「ほんまにありがとう。こんなん言ってくれへんかったら、絶対手紙なんか書かへんかった。自分の中で大切なことを確認できる、いいチャンスをもたらした。保険の相談から始まったけど、いい出会いやった。」

保険の相談を通して、人生の大切な想いを形にするお手伝いできたことに、私自身も深く感謝しています。この言葉を胸に刻みながら、私はこれからも、お客さま一人ひとりの人生に寄り添う存在でありたいと思っています。